

## 相双・いわき医療圏の医療提供体制の現状

○ 隣接地域のいわき市医療センター（いわき市）、福島労災病院（いわき市）、南相馬市立総合病院（南相馬市）、公立相馬総合病院（相馬市）、福島県立医科大学付属病院（福島市）などでは、**高度専門的な医療を提供できる機能・体制**を備えている。また、精神疾患に関しては、いわき市や南相馬市に200床規模の病院が稼働している。高速交通網の整備などにより、いわき市や相馬地域の**高度専門的な医療に対応できる病院は、車で1時間弱の圏内**となっている。

- 平成27年3月に**常磐自動車道**が全線開通し、令和3年6月には、いわきICと広野IC間が全線4車線となったことで、**いわき市や相馬地域は、大熊町から車で1時間弱の圏内**となった。
- 平成30年から「**福島県多目的医療用ヘリ**」の運用を開始したことで、福島県ふたば医療センター附属病院（富岡町）から**いわき市や南相馬市の病院まで10～15分程度、福島県立医科大学附属病院まで20分程度**で患者を搬送することが可能となった。

## 【相双・いわき医療圏の主な病院】

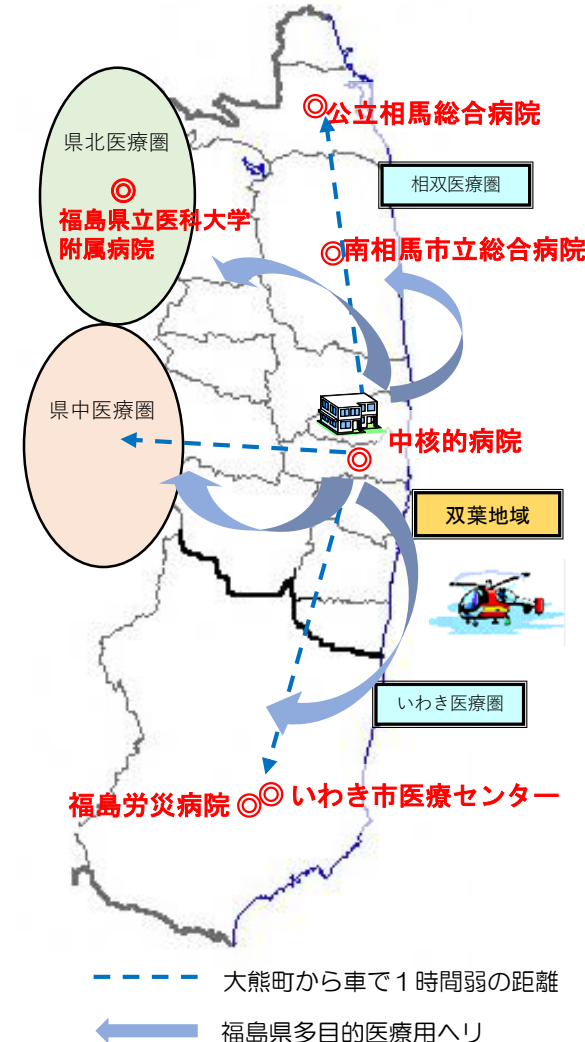
圏域	医療機関 (一般・療養病床数)	診療科	がん 連携拠点病院	脳卒中 急性期 回復期	心血管疾患 急性期			回復期	糖尿病			医療機能
					心筋梗塞	大動脈解離	慢性心不全		専門治療	急性増悪		
相双	公立相馬総合病院 (198床)	内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、糖尿病内科、腎臓内科、リウマチ内科、血液内科				●			●	●	小児地域支援病院 周産期医療協力施設	
	南相馬市立総合病院 (300床)	内科、心療内科、リウマチ科、小児科、精神科、神経内科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、皮膚科、リハビリテーション科、麻酔科、呼吸器科、循環器科、消化器科、血液内科、腎臓・高血圧内科、糖尿病・内分泌代謝内科		●	●	●		●			原子力災害拠点病院 地域災害拠点病院	
いわき	いわき市医療センター (700床)	内科、心療内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児内科、脳神経内科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、歯科口腔外科、血液内科、腎臓・膠原病科、糖尿病・内分泌科、未熟児・新生児科、リハビリテーション科、精神科、緩和ケア内科	●	●		●	●	●		●	第三次救急医療機関 小児地域医療センター 小児救命救急医療 地域周産期母子医療センター 地域災害拠点病院 原子力災害医療協力機関 第二種感染症指定医療機関 地域医療支援病院 緩和ケア病棟	
	福島労災病院 (399床)	内科、心療内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、リウマチ膠原病内科、外科、呼吸器外科、脳神経外科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、整形外科・リハビリテーション科、麻酔科、放射線治療科	●			●	●	●	●	●	原子力災害医療協力機関 緩和ケア病棟 地域医療支援病院	

出典：福島県地域医療課「第7次福島県地域医療計画」、「各病院のホームページ」、「県内病院一覧（令和4年9月30日現在）」

【相双・いわき医療圏において精神病床を有する主な病院】※いわき医療圏については200床以上の病院を記載した。

圏域	医療機関（精神病床数）
相双	雲雀ヶ丘病院（254床）、高野病院（49床※認知症治療病棟）
いわき	新田目病院（210床）、舞子浜病院（203床）、四倉病院（214床）、泉保養院（230床）

出典：福島県地域医療課「県内病院一覧（令和4年9月30日現在）」



--- 大熊町から車で1時間弱の距離

← 福島県多目的医療用ヘリ